

## インフルエンザ情報

国立感染症研究所感染症情報センター（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）は、「インフルエンザ流行マップ第03週（1月14日～1月20日）平成25年1月23日現在」を平成25年1月25日に公表した。

（コメント）

2012/2013年シーズンのインフルエンザの定点当たり報告数は2012年第43週以降増加が続いている。2013年第3週の定点当たり報告数は22.58（患者報告数111,475）となり、前週の報告数（定点当たり報告数12.07）よりも大きく増加した。

定点医療機関からの報告をもとに、定点以外を含む全国の医療機関をこの1週間に受診した患者数を推計すると約140万人（95%信頼区間：129万人～151万人）となり、5～9歳約20万人（14.3%）、30代約19万人（13.6%）、0～4歳、10～14歳、20代、40代がそれぞれ約16万人（11.4%）の順となっている。

都道府県別では福島県（38.63）、茨城県（36.18）、群馬県（35.66）、長崎県（34.50）、千葉県（34.17）、福岡県（32.92）、埼玉県（32.13）、栃木県（32.08）、佐賀県（31.45）の順となっており、第2週と同様に第3週も全ての都道府県で前週の報告数よりも増加がみられた。

全国の保健所地域で警報レベルを超えているのは114箇所（28都道府県）、注意報レベルのみを超えている保健所地域は367箇所（全47都道府県）と共に大きく増加した。

2012年第36週以降これまでの国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、AH3亜型（A香港型）の割合が最も多く検出されている。詳細は感染症情報センターホームページ（<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html#graph>）を参照されたい。

なお、第51週～第03週までの都道府県別の定点当たり報告数の推移【感染症情報センター発表の「感染症発生動向調査週報」等を基に機構で作成】

※定点とは、発生動向調査の観測用に選ばれた医療機関のことで、地域の流行状況について全体の傾向を可能な限り反映できるように、保健所ごとに設定されています。

